

# BA 512 ファームウェアバージョン 5.10.62n

## 補足マニュアル

弊社ブロードバンドアクセスマルータ「BA 512」をご愛顧いただき誠に有難うございます。

ファームウェアバージョン 5.10.62n への更新に伴い、本製品付属マニュアルに記載されていない事項が追加されましたので、補足マニュアルとして添付いたします。5.10.62n へファームウェアをバージョンアップされた場合は、本製品付属マニュアルとあわせて本追加マニュアルを参照してください。

### はじめに

- ・ 本製品は WWW ブラウザ設定画面と TELNET 設定画面の 2 つの設定方法があります。本マニュアルではファームウェアバージョン 5.10.62n での WWW ブラウザ設定方法を説明しています。5.10.62n 以前のファームウェアでは設定項目が異なりますので製品付属のマニュアルを参照してください。
- ・ PPPoE 接続した場合、WWW 設定画面の切断手順を踏まずに、ケーブルの取り外しや電源断などを行うと PPPoE セッションがサーバ側に残った状態になります。この状態に陥ると 10～20 分再接続できなくなりますのでご注意ください。

### <WWW 設定画面へのアクセス>

- ・ WWW 設定画面へのアクセス方法は、本製品付属マニュアルを参照してください。

WWW ブラウザで簡単に設定しよう

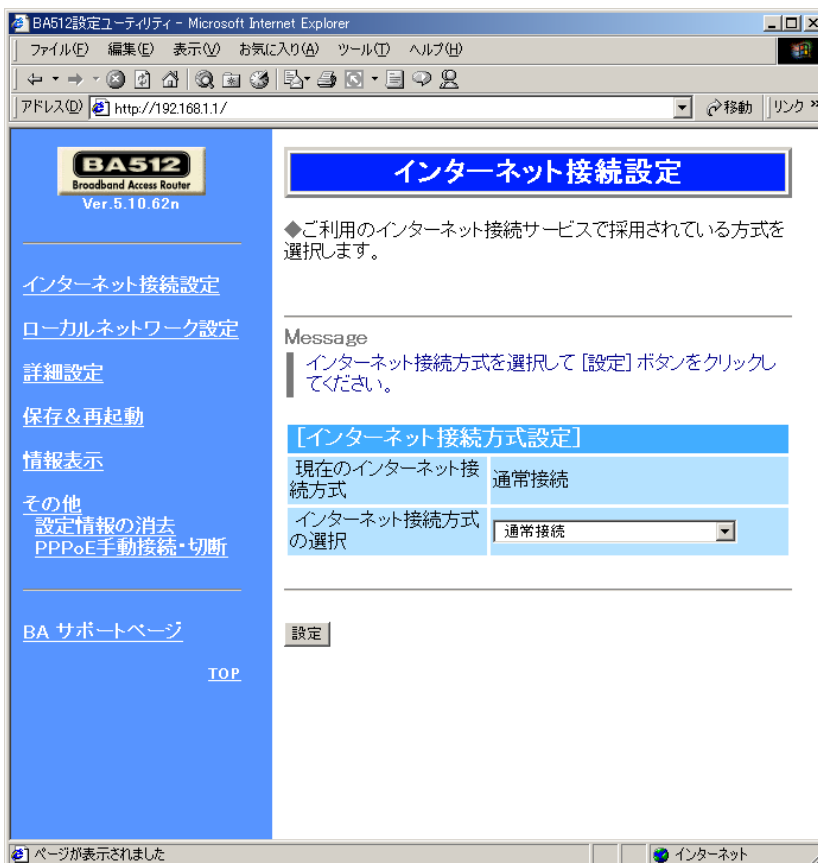
# インターネット接続設定

[インターネット接続設定]では、ご利用のインターネット接続サービスにあわせた設定が可能です。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. [メインメニュー]、または WWW ブラウザの画面左側から、[インターネット接続設定]の文字をクリックします。

→ [インターネット接続設定]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

[インターネット接続設定]ページ - [インターネット接続方式設定]

ご利用のインターネット接続サービスのタイプを設定します。

## ■インターネット接続方式の選択

リストをクリックすると、4つの選択肢が表示されます。ご利用のインターネット接続サービスに合わせて選択してください。

- **通常接続**  
通常の ADSL インターネット接続サービスや、CATV インターネット接続サービスで採用されている方式です。
- **PPPoE 接続**

NTT 東日本・西日本の「フレッツ・ADSL」サービスや、東京めたりっく通信の「Single」、名古屋めたりっく通信の「Home」サービスなどで採用されている方式です。ユーザ名とパスワードを使って接続します。

- **PPPoE 複数 IP アドレス LAN 型接続(NAT&スルー)**

PPPoEを使ったインターネット接続サービスで、複数の固定グローバル IP アドレスが利用可能なサービスをご利用の場合に選択します。

- **DANA 接続**

DANA 方式のインターネット接続サービスです。ユーザ名とパスワードを使って接続します。

.....

4. 入力内容を確認し、正しければ[設定]ボタンを押してください。

自動的に、設定した項目に対応するオプション設定ページが表示されます。

# 通常接続設定

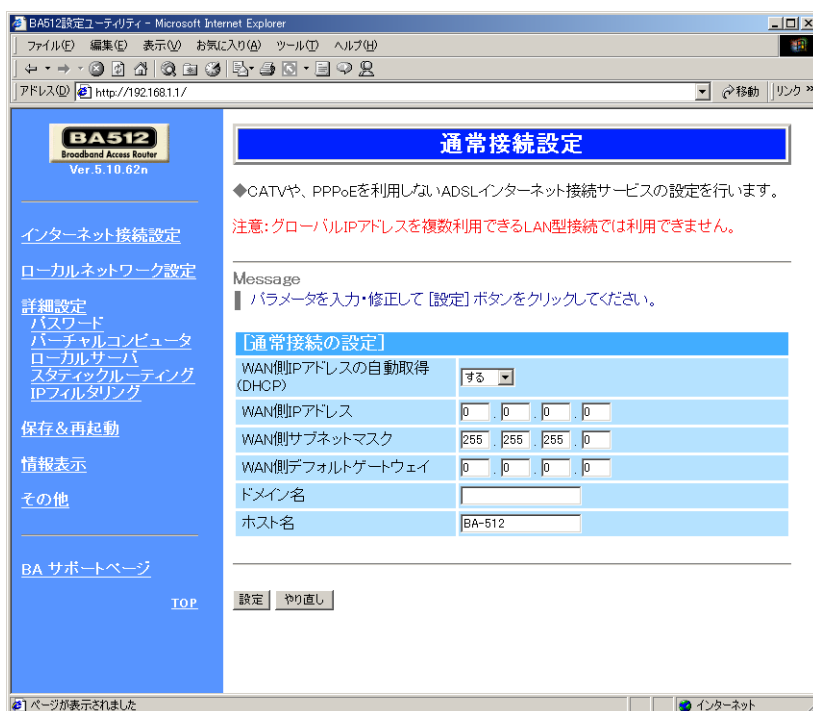
[通常接続設定]では、通常の ADSL/CATV インターネットサービスをご利用の場合の設定を行います。

注意: PPPoE 採用 ADSL インターネット接続サービスの場合は、[PPPoE 接続設定]を行ってください。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. [インターネット接続設定]ページ - [インターネット接続方式設定] - [インターネット接続方式の選択]で、[通常接続]を選択し、[設定]ボタンを押します。

→ [通常接続設定]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

[通常接続設定]ページ - [通常接続の設定]

## ■WAN 側 IP アドレスの自動取得(DHCP)

プロバイダから IP アドレスが自動的に割り当てられる場合は「する」、IP アドレスが固定で割り当てられる場合は「しない」を選択します。「しない」の場合は以下の項目に関しても設定してください。(工場出荷時の状態では「する」に設定されています。)

## ■WAN 側 IP アドレスの自動取得(DHCP)

プロバイダから IP アドレスが自動的に割り当てられる場合は「する」、IP アドレスが固定で割り当てられる場合は「しない」を選択します。「しない」の場合は以下の項目に関しても設定してください。

■WAN 側 IP アドレス

IPアドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたIPアドレスを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例:172.16.1.55

■WAN 側サブネットマスク

IP アドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力してください。(工場出荷時の状態では「255.255.255.0」に設定されています。)

例:255.255.255.0

■WAN 側デフォルトゲートウェイ

IP アドレスが固定で割り当てられる場合は、プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例:172.16.1.1

■ドメイン名

特に必要が無い限り設定しません。①ご利用のインターネット接続サービスでドメイン名の設定が必要な場合や、②LAN 上でドメイン名を使用している場合は、ここにドメイン名を入力します。この設定を行うと本製品の DHCP サーバ機能によって IP アドレスが自動設定される際に、ドメイン名もパソコンに設定されます。①の場合は、プロバイダから指定されたドメイン名を入力してください。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例:domain

■ホスト名

特に必要が無い限り変更する必要はありませんが、ご利用のインターネット接続サービスによっては、ホスト名の設定が必要になります。この場合はプロバイダから指定されたホスト名を入力してください。(工場出荷時の状態では「BA-512」に設定されています。)

例:host

.....

4. 入力内容を確認し、正しければ[設定]ボタンを押してください。

自動的に[保存&再起動]ページが表示されますので、[保存&再起動]ボタンを押してください。[保存&再起動]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約 10 秒かかります)

# PPPoE 接続設定

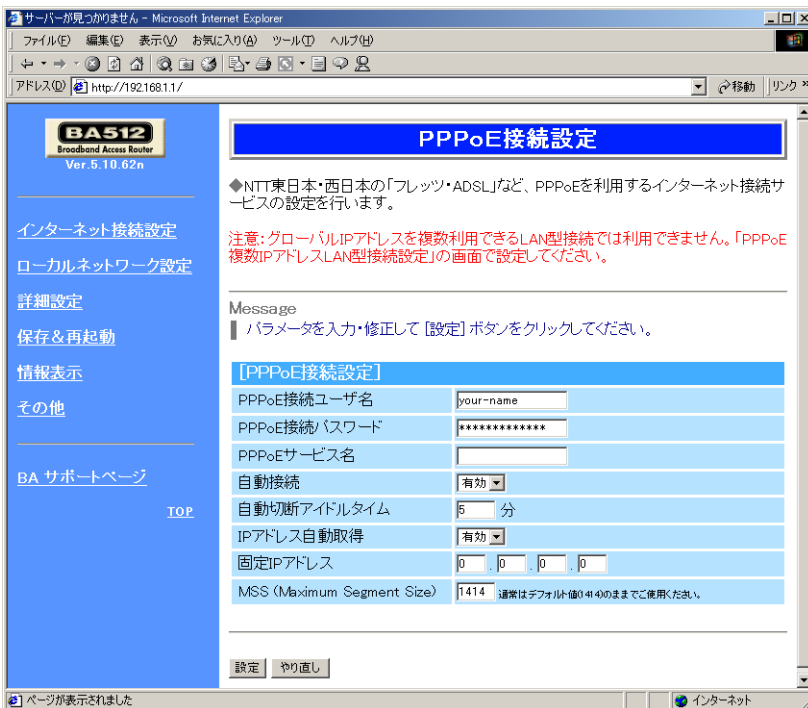
[PPPoE 接続設定]では、PPPoE 方式を採用した ADSL インターネットサービスをご利用の場合の設定を行います。

注意:PPPoE ではない ADSL/CATV インターネット接続サービスの場合は、[通常接続設定]を行ってください。  
また、複数の固定グローバル IP アドレスが割り当てられる PPPoE 採用インターネット接続サービスの場合は、  
[PPPoE 複数 IP アドレス LAN 型接続(NAT&スルー)]を行ってください。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. [インターネット接続設定]ページ - [インターネット接続方式設定] - [インターネット接続方式の選択]で、  
[PPPoE 接続]を選択し、[設定]ボタンを押します。

→ [PPPoE 接続設定]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

[PPPoE 接続設定]ページ - [PPPoE 接続の設定]

## ■ PPPoE 接続ユーザ名

プロバイダから指定された PPPoE 接続ユーザ名を、正確に入力してください。以下の PPPoE サービス名が指定されていない場合は”@”(アットマーク)以下も入力します。(工場出荷時の状態では「your-name」に設定されています。)

注意:最大 64 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE 接続ユーザ名はメールアドレス名など異なる場合があります。

例:TaroPPPoE@provider.ne.jp

#### ■PPPoE 接続パスワード

プロバイダから指定された PPPoE 接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても”\*”(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

**注意:最大 32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE 接続パスワードはメールパスワードなどと異なる場合があります。**

例:AdslPassWord

#### ■PPPoE サービス名

プロバイダから指定された PPPoE サービス名を、正確に入力してください。特に指定されていない場合は入力する必要はありません。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

**注意:最大 32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。**

例:Service

#### ■自動接続

パソコン上で WWW ブラウザを起動した場合など、LAN 側のパソコンからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続したい場合は、「有効」に設定してください。定額のインターネット接続サービスの場合は「有効」に設定することをお勧めします。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

**注意:従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[その他] - [PPPoE 手動接続]ページで手動接続しなければなりません。**

#### ■自動切断アイドルタイム

PPPoE でインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的に PPPoE 接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。自動切断したくない場合は、この欄に”0”を入力してください。(工場出荷時の状態では「5」に設定されています。)

例:10

#### ■IP アドレス自動取得

IP アドレスがプロバイダから自動的に割り当てられる場合は「有効」、IP アドレスが固定で割り当てられている場合は「無効」を選択します。「無効」の場合は以下の「固定 IP アドレス」も設定してください。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

#### ■固定 IP アドレス

IP アドレスが固定で割り当てられている場合に、プロバイダから指定された IP アドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例:172.16.1.50

#### ■MSS(Max Segment Size)

MSS(Max Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設定(1414)を変更する必要はありません。不用意に変更すると通信ができなくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、パフォーマンスが著しく落ちますので注意してください。

**注意：MSS 値はインターネットスピードのパフォーマンスに影響を与えます。アプリケーションの都合で MSS 値を変更する場合は、そのアプリケーションの許容範囲の最大値を入力してください(1414 以上は指定しないで下さい)。**

例：株式会社セガの Dreamcast で『ファンタシースターオンライン』をプレイする場合は、工場出荷時の設定(1414)では動作しません。当社では 1400、1300、1200 の各値で動作確認を行っています。

.....

4. 入力内容を確認し、正しければ[設定]ボタンを押してください。

自動的に[保存&再起動]ページが表示されますので、[保存&再起動]ボタンを押してください。[保存&再起動]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約 10 秒かかります)

## PPPoE 複数 IP アドレス LAN 型接続(NAT&スルー)

[PPPoE 複数 IP アドレス LAN 接続(NAT&スルー)]では、PPPoE を使ったインターネット接続サービスで、複数の固定グローバル IP アドレスが利用可能なサービスをご利用の場合の設定を行います。

注意:PPPoE ではない ADSL/CATV インターネット接続サービスの場合は、[通常接続設定]を行ってください。  
また、IP アドレスが 1 個しか割り当てられない通常の PPPoE 採用インターネット接続サービスの場合は、[PPPoE 接続設定]を行ってください。

### ◆複数グローバル IP アドレスサービスの利点

通常の PPPoE インターネット接続サービスでは IP アドレスが 1 個しか割り当てられません。また、PPPoE でプロバイダに接続した際に空いている IP アドレスが割り当てられますので、接続するごとに毎回違う IP アドレスが割り当てられます。

これに対し、グローバル IP アドレスが固定的に割り当てられていると、常に同じグローバル IP アドレスでインターネットからアクセスできますので、サーバ公開には必須のサービスです。

### ◆PPPoE 複数グローバル IP アドレス接続サービスについて

- ・ 本製品はファームウェアバージョン 5.10.62n より、「PPPoE 複数グローバル IP アドレス LAN 型接続サービス (NAT&スルー)」に対応しています。
- ・ 本マニュアルでは、PPPoE 採用 ADSL インターネット接続で複数の IP アドレスを提供するサービスを、「PPPoE 複数グローバル IP アドレス LAN 型接続サービス」としております。その他のサービスでは機能しない場合がありますのでご注意ください。
- ・ 「PPPoE 複数グローバル IP アドレス LAN 型接続サービス」は WWW 設定画面のみで設定可能です。TELNET 設定画面では設定できませんのでご注意ください。

### ◆IP アドレスの割り当て方法

プロバイダから複数のグローバル IP アドレスが割り当てられる場合、割り当てられる連続したグローバル IP アドレス空間のうち、最初(ネットワークアドレス)と最後(ブロードキャストアドレス)は、システムで予約されておりホスト(パソコン)には使用できません。また、本製品のようなルータに対する IP アドレスも必要になります。従って、お客様のホスト(パソコン・サーバ)で利用可能な IP アドレスは、

(プロバイダから割り当てられたアドレス数) - 3

になります。(プロバイダから 8 個のグローバル IP アドレスが割り当てられている場合は 5 個が利用可能)

例:プロバイダから 10.10.1.100~10.10.1.107 までのグローバル IP アドレスが割り当てられた場合

10.10.1.100	・・・ネットワークアドレス(使用不可)
10.10.1.101	・・・ルータ用(例:本製品 LAN 側ポート)
10.10.1.102	・・・お客様ホスト用(例:プライマリ DNS サーバ)
10.10.1.103	・・・お客様ホスト用(例:WWW サーバ)
10.10.1.104	・・・お客様ホスト用(例:メールサーバ)

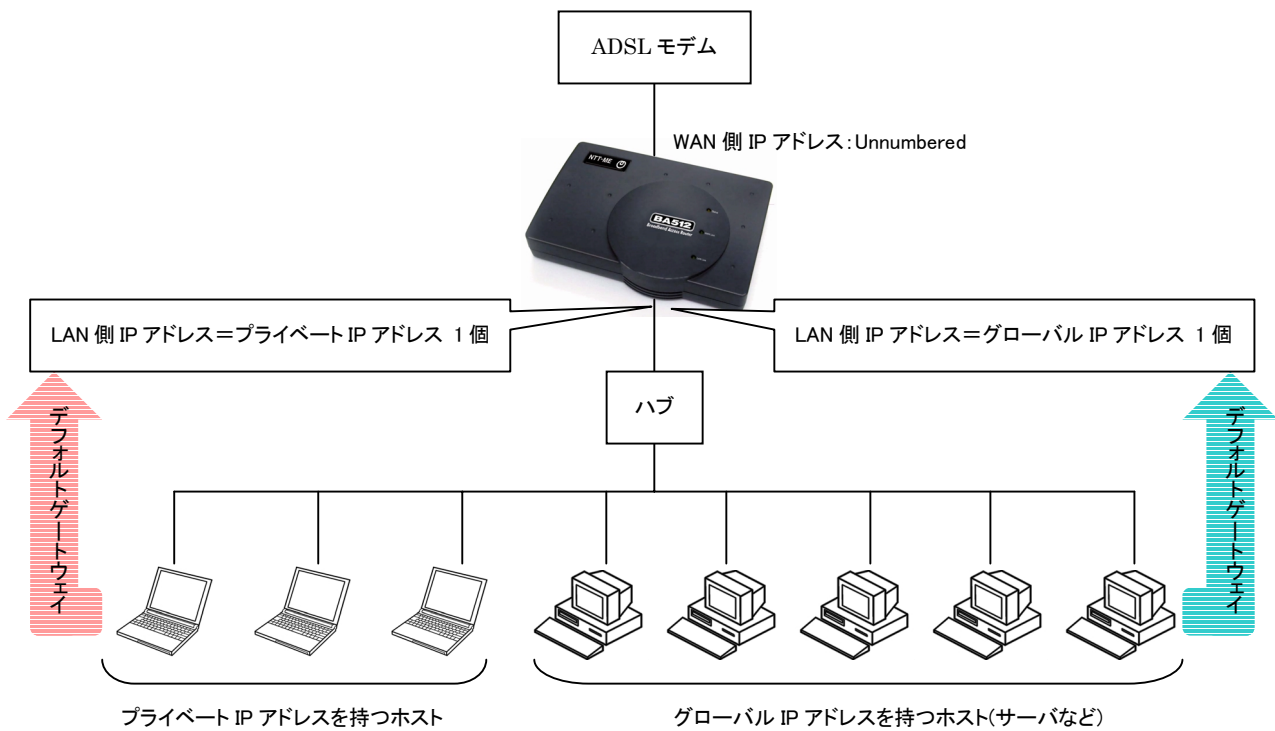
- 10.10.1.105      …お客様ホスト用(例:FTP サーバ)
- 10.10.1.106      …お客様ホスト用(例:その他のサーバ)
- 10.10.1.107      …ブロードキャストアドレス(使用不可)

注意:一般的にルータ(本製品 LAN 側ポート)に設定するグローバル IP アドレスは、ネットワークアドレスの次のアドレスにします。プロバイダから指定されていない場合は、特に理由がない限りこのアドレスで設定してください。

◆本製品の機能(NAT&スルー)

本製品の複数グローバル IP アドレス LAN 型接続機能を利用すると、プロバイダから割り当てられた複数のグローバル IP アドレスを持つパソコンを、本製品の LAN 側ポートに接続可能になります。さらに、プライベート IP アドレスを持つホスト(パソコン)も接続することができます。

この際、本製品の LAN 側ポートはグローバル IP アドレスとプライベート IP アドレスをそれぞれ 1 個、合計 2 つの IP アドレスを保持します。また、WAN 側ポートには IP アドレスは割り当てられておらず、Unnumbered となります。



グローバル IP アドレスネットワーク					
区分	ネットワークアドレス	デフォルトゲートウェイ	各ホストのアドレス	ブロードキャストアドレス	サブネットマスク
IP アドレス	割り当てられた IP アドレス範囲の最初のグローバル IP アドレス	割り当てられた IP アドレス範囲の 2 番目のグローバル IP アドレス※	ユーザ使用可能なグローバル IP アドレス	割り当てられた IP アドレス範囲の最後のグローバル IP アドレス	プロバイダから指定されたサブネットマスク
例: 10.10.1.100～10.10.1.107 の 8 個のグローバル IP アドレスが割り当てられている場合	10.10.1.100	10.10.1.101	10.10.1.102～ 10.10.1.106	10.10.1.107	255.255.255.248

注意: 一般的にルータ(本製品 LAN 側ポート)に設定するグローバル IP アドレスは、ネットワークアドレスの次のアドレスにします。プロバイダから指定されていない場合は、特に理由がない限りこのアドレスで設定してください。

プライベート IP アドレスネットワーク					
区分	ネットワークアドレス	デフォルトゲートウェイ	各ホストのアドレス	ブロードキャストアドレス	サブネットマスク
IP アドレス	任意のネットワークアドレス	任意のデフォルトゲートウェイ	任意	任意のブロードキャストアドレス	任意のサブネットマスク
例: 192.168.1.0/24 のプライベートアドレス空間を使用する場合	192.168.1.0	192.168.1.1	192.168.1.2～ 192.168.1.254	192.168.1.255	255.255.255.0

#### ◆ホスト(パソコン・サーバ)の設定

本製品の複数グローバル IP アドレス LAN 型接続機能(NAT & スルー)を利用する場合、LAN 側ポートに接続したホスト(パソコン・サーバ)のネットワーク設定は次のようになります。

##### グローバル IP アドレスのパソコン

IP アドレス: プロバイダから割り当てられた IP アドレス空間のうち、利用可能なグローバル IP アドレス(本製品 LAN 側ポートに設定するルータアドレスを除く)

例: 10.10.1.102

サブネットマスク: プロバイダから指定されたサブネットマスク

例: 255.255.255.254

デフォルトゲートウェイ: 割り当てられた IP アドレス範囲の 2 番目のグローバル IP アドレス(=本製品 LAN 側ポートに設定したグローバル IP アドレス)

例: 10.10.1.102

##### プライベート IP アドレスのパソコン(本製品の DHCP サーバ機能を利用しない場合)

IP アドレス: 任意の IP アドレス

例: 192.168.1.2

サブネットマスク: 任意のサブネットマスク

例：255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ：本製品 LAN 側ポートに設定したプライベート IP アドレス

例：192.168.1.1

**プライベート IP アドレスのパソコン**(本製品の DHCP サーバ機能を利用する場合)

各パソコンの DHCP クライアント機能を有効にするだけで設定完了です。

## ◆本製品の複数グローバル IP アドレス LAN 型接続機能(NAT&スルー)の設定方法

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. [インターネット接続設定]ページ - [インターネット接続方式設定] - [インターネット接続方式の選択]で、[PPPoE 複数 IP アドレス LAN 型接続(NAT&スルー)]を選択し、[設定]ボタンを押します。

→ [PPPoE 複数 IP アドレス LAN 型接続(NAT&スルー)]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

[PPPoE 続設定]ページ - [PPPoE 複数 IP アドレス LAN 型接続(NAT&スルー)]

### ■ PPPoE 接続ユーザ名

プロバイダから指定された PPPoE 接続ユーザ名を、正確に入力してください。以下の PPPoE サービス名が指定されていない場合は”@”(アットマーク)以下も入力します。(工場出荷時の状態では「your-name」に設定されてい

ます。)

**注意:**最大 64 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE 接続ユーザ名はメールアドレス名など異なる場合があります。

例:TaroMPPPoE@provider.ne.jp

#### ■PPPoE 接続パスワード

プロバイダから指定された PPPoE 接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても”\*”(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

**注意:**最大 32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。PPPoE 接続パスワードはメールパスワードなど異なる場合があります。

例:AdslPassWord

#### ■PPPoE サービス名

プロバイダから指定された PPPoE サービス名を、正確に入力してください。と国指定されていない場合は入力する必要はありません。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

**注意:**最大 32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

例:Service

#### ■自動接続

パソコン上で WWW ブラウザを起動した場合など、LAN 側のパソコンからのインターネット接続要求に応じて自動的にインターネット接続したい場合は、「有効」に設定してください。複数グローバル IP アドレス LAN 型サービスの場合は、「有効」に設定することをお勧めします。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

**注意:**従量制の場合などで「無効」に設定した場合は、[その他] - [PPPoE 手動接続]ページで手動接続しなければなりません。

#### ■自動切断アイドルタイム

PPPoE でインターネットに接続中、通信が無い状態が続いた場合に自動的に PPPoE 接続を切断するまでの時間を分単位で指定します。自動切断したくない場合は、この欄に”0”を入力してください。複数グローバル IP アドレス LAN 型サービスの場合は、”0”を入力して自動切断しないことを推奨します。(工場出荷時の状態では「5」に設定されています。)

例:0

#### ■IP アドレス自動取得

プロバイダからルータのアドレスを指定されている場合は「無効」、指定されていない場合は「有効」を入力してください。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

#### ■固定 IP アドレス(NAT アドレス)

プロバイダからルータアドレスを指定されている場合はそのアドレス、指定されていない場合は「0.0.0.0」を入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例:10.10.1.101

■LAN 側グローバル IP アドレス

プロバイダからルータアドレスを指定されている場合はそのアドレス、指定されていない場合は割り当てられたアドレス範囲の 2 番目のグローバル IP アドレスを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

例:10.10.1.101

■MSS(Max Segment Size)

MSS(Max Segment Size)値を変更します。通常は工場出荷時の設定(1414)を変更する必要はありません。不用意に変更すると通信ができなくなったり、特定のサイトやアプリケーションが使用できなくなったり、パフォーマンスが著しく落ちますので注意してください。

注意：MSS 値はインターネット接続スピードのパフォーマンスに影響を与えます。アプリケーションの都合で MSS 値を変更する場合は、そのアプリケーションの許容範囲の最大値を入力してください(1414 以上は指定しないで下さい)。

例:株式会社セガの Dreamcast で『ファンタシースターオンライン』をプレイする場合は、工場出荷時の設定(1414)では動作しません。当社では 1400、1300、1200 の各値で動作確認を行っていますので、このなかでできる限り大きい数値を設定してください。

.....

4. 入力内容を確認し、正しければ[設定]ボタンを押してください。

自動的に[保存&再起動]ページが表示されますので、[保存&再起動]ボタンを押してください。[保存&再起動]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約 10 秒かかります)

WWW ブラウザで簡単に設定しよう

# DANA 接続設定

[DANA 接続設定]では、DANA 方式を採用したインターネット接続サービスをご利用の場合の設定を行います。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. [インターネット接続設定]ページ - [インターネット接続方式設定] - [インターネット接続方式の選択]で、[DANA 接続]を選択し、[設定]ボタンを押します。

→ [DANA 接続設定]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

[DANA 接続設定]ページ - [DANA 接続の設定]

## ■ログインユーザ名

プロバイダから指定された DANA 接続ユーザ名を、正確に入力してください。(工場出荷時の状態では「your-name」に設定されています。)

**注意:**大文字・小文字の違いに注意して入力してください。DANA 接続ユーザ名はメールアドレス名など異なる場合があります。

例:TaroDANA@provider.ne.jp

## ■ログインパスワード

プロバイダから指定された DANA 接続パスワードを、正確に入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても「\*」(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

注意:最大 32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。DANA 接続パスワードはメールパスワードなどと異なる場合があります。

例:DanaPassWord

■サービス名

プロバイダから指定された DANA サービス名を、正確に入力してください。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

注意:最大 32 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

例:DanaService

.....

4. 入力内容を確認し、正しければ[設定]ボタンを押してください。

自動的に[保存&再起動]ページが表示されますので、[保存&再起動]ボタンを押してください。[保存&再起動]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約 10 秒かかります)

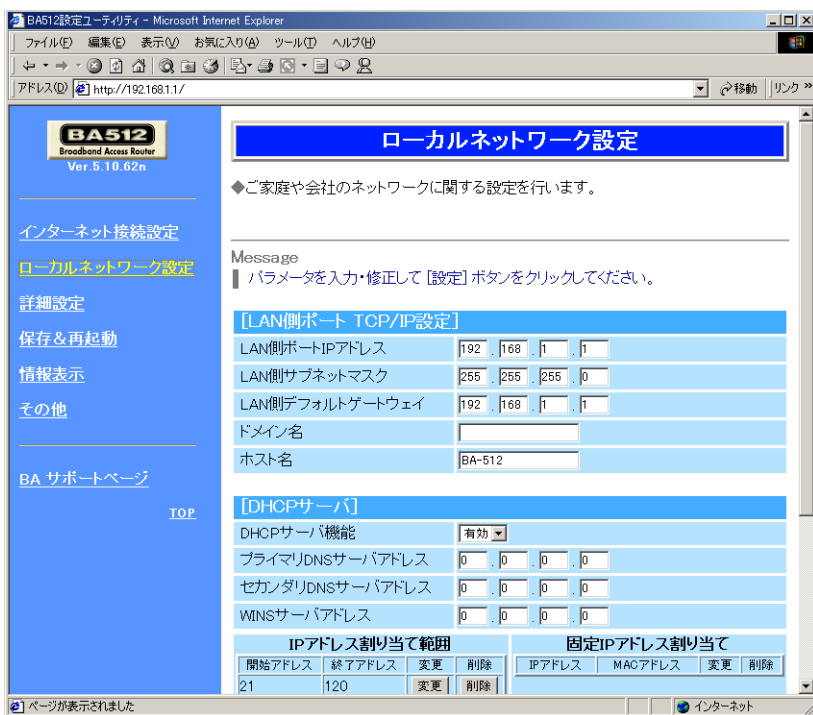
WWW ブラウザで簡単に設定しよう

# ローカルネットワーク設定

[ローカルネットワーク設定]では、

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. [メインメニュー]、または WWW ブラウザの画面左側から、[ローカルネットワーク設定]の文字をクリックします。  
→ [ローカルネットワーク設定]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

[ローカルネットワーク設定]ページ - [LAN側ポート TCP/IP 設定]

## ■LAN側ポート IP アドレス

本製品 LAN 側ポートに設定する IP アドレスを入力します。ここに入力するアドレスが LAN 側からみた本製品の IP アドレスになります。(工場出荷時の状態では「192.168.1.1」に設定されています。)

例:192168.1.1

## ■LAN側サブネットマスク

本製品 LAN 側ポートに接続されたネットワークのサブネットマスクを入力します。(工場出荷時の状態では「255.255.255.0」に設定されています。)

例:255.255.255.0

## ■LAN側デフォルトゲートウェイ

本製品の LAN 側ポートに接続されたネットワークのデフォルトゲートウェイ(デフォルトルータ)の IP アドレスを入力します。通常は本製品を経由してインターネットに接続する携帯になりますので、上記[LAN 側ポート IP アドレス]と同じ値を入力します。(工場出荷時の状態では「192.168.1.1」に設定されています。)

例:192.168.1.1

#### ■ドメイン名

特に必要が無い限り設定しません。①ご利用のインターネット接続サービスでドメイン名の設定が必要な場合や、②LAN 上でドメイン名を使用している場合は、ここにドメイン名を入力します。この設定を行うと本製品の DHCP サーバ機能によって IP アドレスが自動設定される際に、ドメイン名もパソコンに設定されます。①の場合は、プロバイダから指定されたドメイン名を入力してください。(工場出荷時の状態では空欄に設定されています。)

例:domain

#### ■ホスト名

特に必要が無い限り変更する必要はありませんが、ご利用のインターネット接続サービスによっては、ホスト名の設定が必要になります。この場合はプロバイダから指定されたホスト名を入力してください。(工場出荷時の状態では「BA-512」に設定されています。)

例:host

.....

### [ローカルネットワーク設定]ページ - [DHCP サーバ]

#### ■DHCP サーバ機能

「有効/無効」から選択してください。この機能を有効にすると LAN 側ポートに接続されたネットワーク上のパソコンに対して、本製品が自動的に IP アドレスを割り当てます。有効にする場合は以下の項目も設定してください。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

#### ■プライマリ DNS サーバアドレス

プロバイダから指定された DNS サーバの IP アドレスを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

(例:172.16.1.10)

#### ■セカンダリ DNS サーバアドレス

プロバイダからセカンダリ(バックアップ)DNS サーバの IP アドレスも指定されている場合は入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

(例:172.16.1.11)

#### ■WINS サーバアドレス

LAN 側ポートに接続されたネットワーク上に WINS サーバがある場合はその IP アドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

(例:172.16.1.20)

#### ■IP 割り当て範囲

本製品の DHCP サーバ機能により、LAN 側ポートに接続されたネットワーク上のパソコンに対して自動的に割り当てられる IP アドレスの範囲がリスト表示されています。この範囲を変更したい場合は[変更]ボタンを、削除したい場合は[削除]ボタンを押してください。(工場出荷時の状態では「192.168.1.21」～「192.168.1.120」までの IP アドレス割り当て範囲が設定されており、最高 100 台のパソコンに IP アドレスを自動的に設定することができます。)

IP アドレスの範囲を追加したい場合は、[IP アドレス範囲の追加]ボタンを押すと、[IP アドレス範囲の追加/変更]ページが表示されます。追加したい IP アドレス範囲の最初のホストアドレスを[開始アドレス]欄に、最後のホストアドレスを[終了アドレス]欄に入力して[設定]ボタンを押してください。入力した内容が反映されたページが表示されます。

#### ■固定 IP 割り当て範囲

本製品の DHCP サーバ機能を利用し、なおかつ特定のパソコン(サーバなど)のみ任意の IP アドレスで固定させたい場合に利用します。既に固定 IP 割り当てを設定している場合はリスト表示されます。各リストを変更したい場合は[変更]ボタンを、削除したい場合は[削除]ボタンを押してください。

固定 IP 割り当てを追加したい場合は、[固定 IP アドレスの追加]ボタンを押すと[固定 IP 割り当ての追加/変更]ページが表示されます。固定設定したい IP アドレスのホストアドレスを[IP アドレス]欄に、その IP アドレスを利用するパソコンの MAC アドレスを[MAC アドレス]欄に入力して、[設定]ボタンを押してください。入力した内容が反映されたページが表示されます。

この設定を行うと、DHCP サーバ機能を利用しているにもかかわらず、特定のパソコンだけ常に同じ IP アドレスが割り当てられます。

#### ■ネットワークアドレス変換(NAT)

「有効/無効」から選択してください。NAT 機能を有効にすると、複数のパソコンから同時にインターネット接続ができるようになります。通常は「有効」に設定してください。(工場出荷時の状態では「有効」に設定されています。)

#### ■マルチキャストプロトコル転送

「する/しない」から選択してください。マルチキャストサービスを利用されている場合は「する」に設定してください。(工場出荷時の状態では「しない」に設定されています。)

#### ■RIP

「有効/無効」から選択してください。(工場出荷時の状態では「無効」に設定されています。)

.....

4. 入力内容を確認し、正しければ[設定]ボタンを押してください。

自動的に[保存&再起動]ページが表示されますので、[保存&再起動]ボタンを押してください。[保存&再起

動]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約 10 秒かかります)

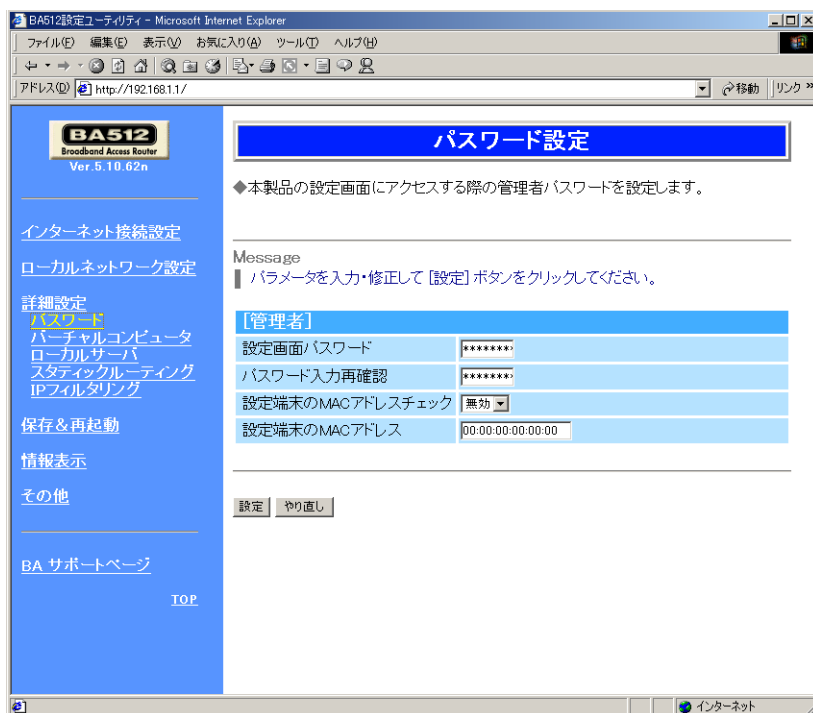
# パスワード設定

WWW ブラウザや TELNET でネットワーク上から本製品の設定を行えるということは、便利である反面、誰でも設定内容を変更できるという危険性をはらんでいます。本製品にはインターネットに接続するための重要な情報が入力されており、この設定情報を誰もが自由に閲覧・変更できるような状態にしておくことは、セキュリティ上好ましくありません。

[パスワード設定]では、本製品の設定画面へのアクセスに対するパスワード制限や、設定内容を閲覧・変更できるパソコンを限定する方法を説明します。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. [メインメニュー]、または WWW ブラウザの画面左側から、[詳細設定] - [パスワード]の順にクリックします。  
→ [パスワード設定]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

## [パスワード設定]ページ - [管理者]

### ■ 設定画面パスワード

WWW ブラウザや TELNET で本製品の設定画面を開く際に必要になる管理者パスワードを設定します。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても"\*"(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

**注意:**最大 8 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。

例:PassWord

■パスワード入力再確認

誤入力防止のため、上記[設定画面パスワード]で入力した文字を再入力してください。セキュリティのため、この欄に文字を入力しても”\*”(アスタリスク)表示されます。(工場出荷時の状態では「password」に設定されています。)

**注意:最大 8 文字の半角英数字を入力可能です。大文字・小文字の違いに注意して入力してください。**

例:PassWord

■設定端末の MAC アドレスチェック

「有効/無効」から選択してください。「有効」にする場合は以下の[設定端末の MAC アドレス]欄にも入力してください。(工場出荷時の状態では「無効」に設定されています。)

■設定端末の MAC アドレス

本製品を設定できる端末(パソコン)の MAC アドレスを入力します。(工場出荷時の状態では「00:00:00:00:00:00」に設定されています。)

**注意:パスワード設定と MAC アドレスチェックは設定ボタンを押した直後から有効になります。**

4. 入力内容を確認し、正しければ[設定]ボタンを押してください。

自動的に[保存&再起動]ページが表示されますので、[保存&再起動]ボタンを押してください。[保存&再起動]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約 10 秒かかります)

WWW ブラウザで簡単に設定しよう

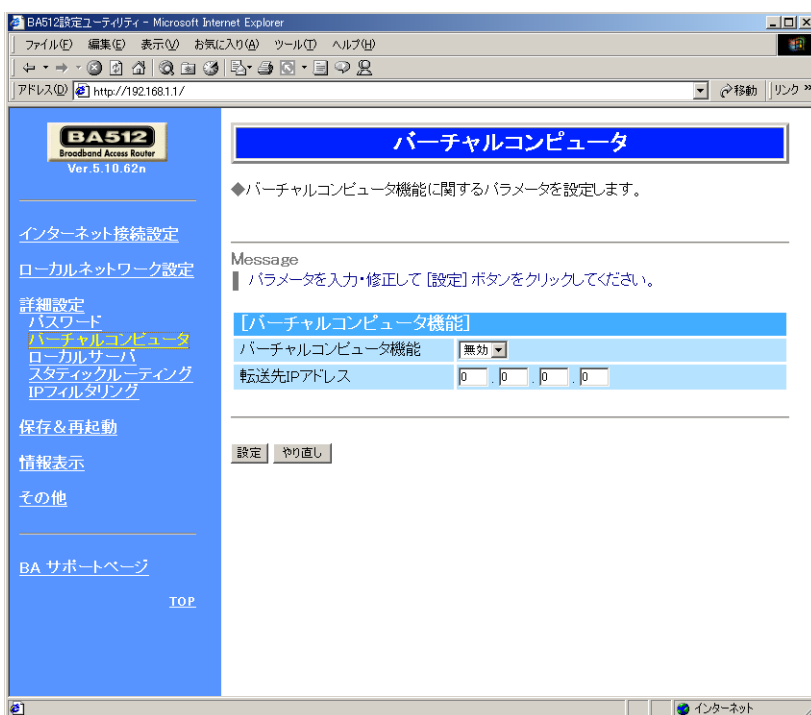
# バーチャルコンピュータ

バーチャルコンピュータ機能とは、LAN 側ポートに接続されたネットワーク上の 1 台のコンピュータを、インターネット上から参照可能とする機能です。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. [メインメニュー]、または WWW ブラウザの画面左側から、[詳細設定] - [バーチャルコンピュータ]の順にクリックします。

→ [バーチャルコンピュータ]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

[バーチャルコンピュータ]ページ - [バーチャルコンピュータ機能]

## ■バーチャルコンピュータ機能

「有効/無効」から選択してください。「有効」にした場合は以下の[IP アドレス]欄も入力してください。(工場出荷時の状態では「無効」に設定されています。)

## ■IP アドレス

バーチャルコンピュータ機能を利用したいパソコンの IP アドレスを入力してください。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

**注意:**バーチャルコンピュータ機能を利用するパソコンの IP アドレスは固定しておかなければなりません。

4. 入力内容を確認し、正しければ[設定]ボタンを押してください。

自動的に[保存&再起動]ページが表示されますので、[保存&再起動]ボタンを押してください。[保存&再起動]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約 10 秒かかります)

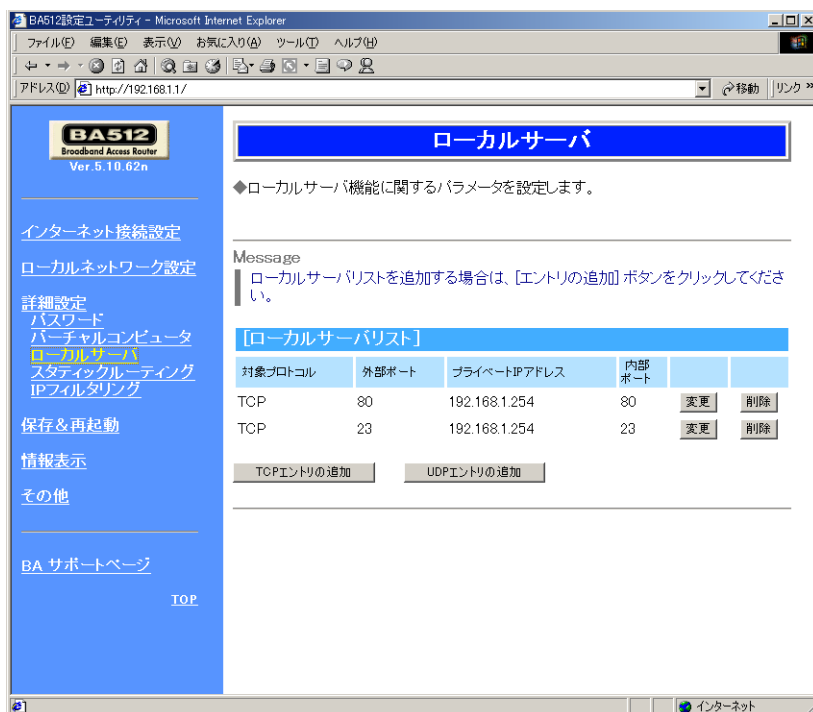
# ローカルサーバ

ローカルサーバ機能とは、LAN 側ポートに接続されたネットワーク上の任意のコンピュータを、インターネット上から参照可能とする機能です。バーチャルコンピュータ機能が 1 台のパソコンにすべての通信を転送するのに対して、ローカルサーバ機能では、TCP/UDP ポート番号と IP アドレスの組み合わせを設定することができます。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. [メインメニュー]、または WWW ブラウザの画面左側から、[詳細設定] - [ローカルサーバ]の順にクリックします。

→ [ローカルサーバ]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

## [ローカルサーバ]ページ - [ローカルサーバリスト]

既にローカルサーバ設定がされている場合は、[ローカルサーバリスト]に各エントリが表示されます。エントリを変更したい場合は[変更]ボタンを、エントリを削除したい場合は[削除]ボタンを押してください。

TCP ポートを使ったローカルサーバリストを追加したい場合は[TCP エントリの追加]ボタンを、UDP ポートを使ったローカルサーバリストを追加したい場合は[UDP エントリの追加]ボタンを押してください。[ローカルサーバリストの追加/変更]ページが表示されます。

### ■外部ポート

インターネット上に公開したいポート番号を入力します。

例:WWW サーバの場合は、TCP の 80 番ポート

■プライベート IP アドレス

上記ポートの転送先パソコンの IP アドレスを入力します。

例:192.168.1.25

■内部ポート

転送先パソコンでの受信ポート番号を入力します。通常は外部ポートと同じ番号で構いません。

例:WWW サーバの場合は 80 番ポート

.....

4. 入力内容を確認し、正しければ[設定]ボタンを押してください。

自動的に[保存&再起動]ページが表示されますので、[保存&再起動]ボタンを押してください。[保存&再起動]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約 10 秒かかります)

WWW ブラウザで簡単に設定しよう

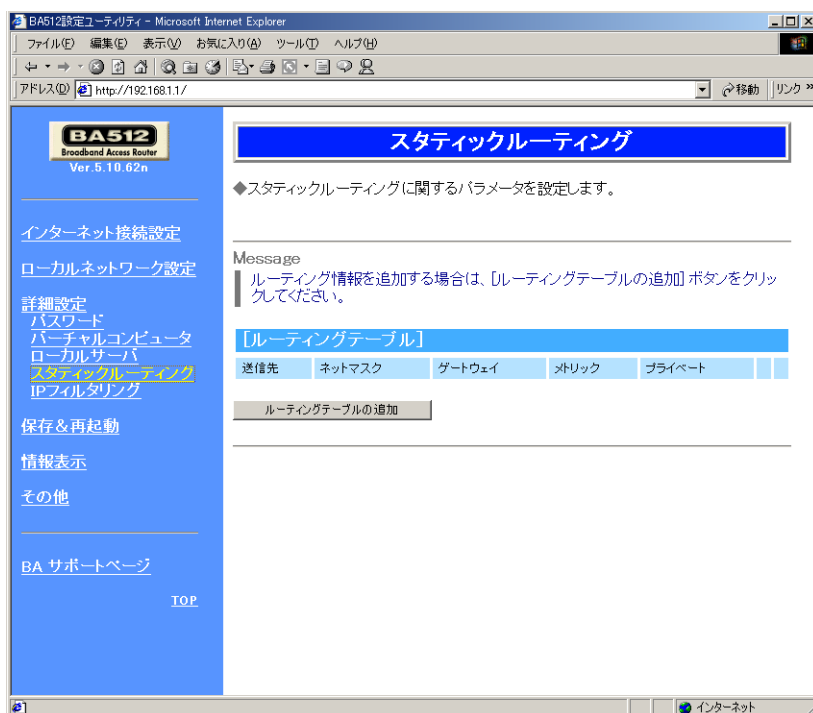
# スタティックルーティング

本製品は内部のルーティングテーブルに、スタティック(静的な)ルーティング情報を追加することができます。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. [メインメニュー]、または WWW ブラウザの画面左側から、[詳細設定] - [スタティックルーティング]の順にクリックします。

→ [スタティックルーティング]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

## [スタティックルーティング]ページ - [ルーティングテーブル]

既にスタティックルーティング設定がされている場合は、[ルーティングテーブル]に各エントリが表示されます。エントリを変更したい場合は[変更]ボタンを、エントリを削除したい場合は[削除]ボタンを押してください。

新たにルーティングテーブルを追加したい場合は、[ルーティングテーブルの追加]ボタンを押してください。[ルーティングテーブルの追加/変更]ページが表示されます。

### ■送信先

送信先の IP アドレスを入力してください。

例:192.168.10.20

### ■ネットマスク

送信先のネットマスクを入力してください。

例:255.255.255.0

■ゲートウェイ

送信先アドレスへのゲートウェイの IP アドレスを入力してください。

例:192.168.1.10

■メトリック

メトリックには1から16までの値を入力可能です。送信先に対して複数の経路がある場合は、より低いメトリック値を持つ経路が優先されます。

例:1

■プライベート

[はい/いいえ]から選択します。定義したルーティング情報をブロードキャストさせたくない場合は「はい」を選択してください。

.....

4. 入力内容を確認し、正しければ[設定]ボタンを押してください。

自動的に[保存&再起動]ページが表示されますので、[保存&再起動]ボタンを押してください。[保存&再起動]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約 10 秒かかります)

WWW ブラウザで簡単に設定しよう

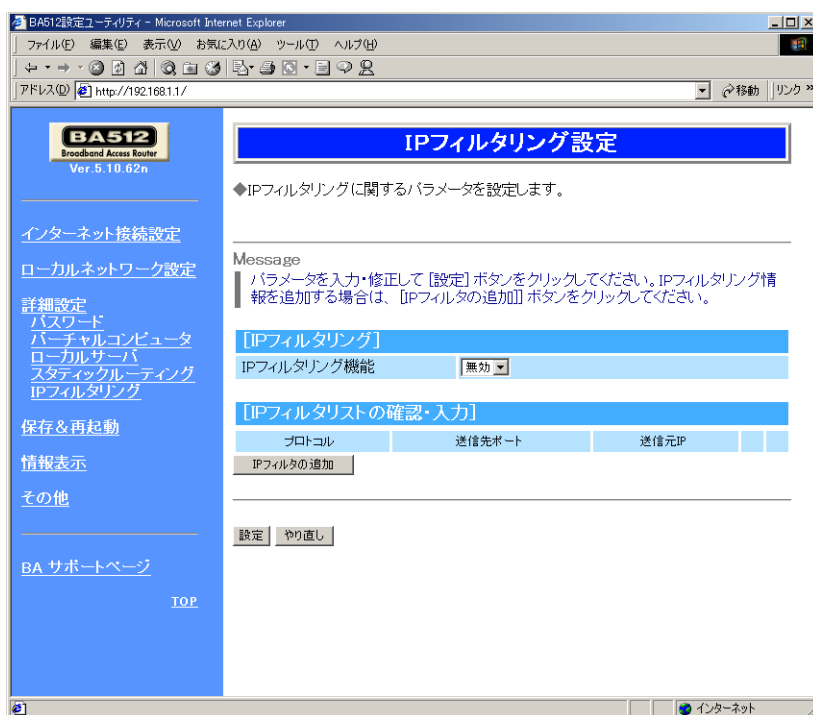
# IP フィルタリング

本製品は LAN 側から WAN 側へのトラフィックに対して TCP/UDP の任意のポート番号を遮断するパケットフィルタリング機能を備えています。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

2. [メインメニュー]、または WWW ブラウザの画面左側から、[詳細設定] - [IP フィルタリング]の順にクリックします。

→ [IP フィルタリング設定]ページが表示されます。



3. 表示される設定項目に必要な情報を入力します。(以下参照)

## [IP フィルタリング設定]ページ - [IP フィルタリング]

### ■ IP フィルタリング機能

「有効/無効」から選択してください。(工場出荷時の状態では「無効」に設定されています。)

## [IP フィルタリング設定]ページ - [IP フィルタリストの確認・入力]

既に IP フィルタリング設定がされている場合は、[IP フィルタリストの確認・変更]リストの各エントリが表示されます。エントリを変更したい場合は[変更]ボタンを、エントリを削除したい場合は[削除]ボタンを押してください。

新たに IP フィルタリング情報の定義を行いたい場合は、[IP フィルタリストの追加]ボタンを押してください。[IP フィルタリストの追加/変更]ページが表示されます。

■プロトコル

フィルタリングするパケットのプロトコルを「TCP/UDP」から選択してください。

■送信先ポート

フィルタリングをするパケットのポート番号を入力してください。

■送信先 IP アドレス

上記ポート番号で指定したパケットフィルタリングを、特定のパソコンに対してのみ適用したい場合は、そのパソコンの IP アドレスを入力してください。「0.0.0.0」を入力するとすべてのパソコンに適用されます。(工場出荷時の状態では「0.0.0.0」に設定されています。)

.....

4. 入力内容を確認し、正しければ[設定]ボタンを押してください。

自動的に[保存&再起動]ページが表示されますので、[保存&再起動]ボタンを押してください。[保存&再起動]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約 10 秒かかります)

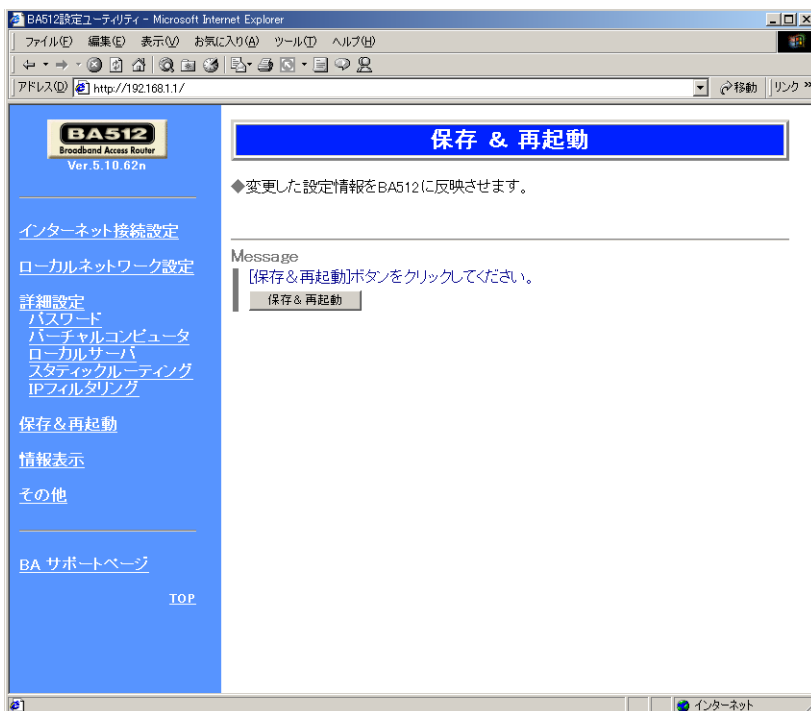
# 保存 & 再起動

本製品に対して設定変更を行った場合、入力内容に間違いがないか再度確認した後、必ず[保存&再起動]を行ってください。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

.....

2. [メインメニュー]、または WWW ブラウザの画面左側から、[保存 & 再起動]の文字をクリックします。  
→ [保存 & 再起動]ページが表示されます。



3. [保存 & 再起動]ボタンを押してください。[保存 & 再起動]ボタンを押すと、変更した設定内容が保存され本製品が再起動を開始します。(再起動には約 10 秒かかります)

WWW ブラウザで簡単に設定しよう

# トラフィックモニタ

[トラフィックモニタ]画面ではパケット送受信の状況がリアルタイムに表示されます。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

.....

2. [メインメニュー]、または WWW ブラウザの画面左側から、[情報表示] - [トラフィックモニタ]の順にクリックします。

→ [トラフィックモニタ]ページが表示されます。

.....

## ■LAN 側ポート

LAN 側ポートの受信バイト数、送信バイト数、受信パケット数、送信パケット数、受信破棄パケット数、受信エラーパケット数、送信エラーパケット数を表示します。10 秒周期で更新されていきます。

## ■WAN 側ポート

WAN 側ポートの受信バイト数、送信バイト数、受信パケット数、送信パケット数、受信破棄パケット数、受信エラーパケット数、送信エラーパケット数を表示します。10 秒周期で更新されていきます。

## ■PPPoE 接続時間

PPPoE 接続時間を表示します。(秒)

# アクセス状況

インターネットへのアクセス状況を観察できます。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

.....

2. [メインメニュー]、または WWW ブラウザの画面左側から、[情報表示] - [アクセス状況]の順にクリックします。  
→ [アクセス状況]ページが表示されます。

.....

## ■送信元アドレス

現在インターネットにアクセスしているパソコンの IP アドレスを表示します。

## ■送信先アドレス

上記パソコンがアクセスしているインターネットサーバの IP アドレスを表示します。

## ■ポート番号

送信元アドレスと送信先アドレスの間の通信で使用されているポート番号を表示します。

# 設定情報の消去

間違った設定を行った場合やすべての設定値を消去したい場合など、本製品を工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

.....

2. [メインメニュー]、または WWW ブラウザの画面左側から、[その他] - [設定情報の消去]の順にクリックします。  
→ [設定情報の消去]ページが表示されます。

.....

3. [消去]ボタンを押すと工場出荷時の設定を読み込みます。

.....

4. この状態を保存するには、さらに[保存&再起動]を行ってください。

WWW ブラウザで簡単に設定しよう

# PPPoE 手動接続・切断

ご利用のインターネット接続サービスが PPPoE 接続の場合、PPPoE セッションの開始と切断を手動で行うことができます。

1. WWW ブラウザで設定画面を開きます。

.....

2. [メインメニュー]、または WWW ブラウザの画面左側から、[その他] - [PPPoE 手動接続・切断]の順にクリックします。

→ [PPPoE 手動接続・切断]ページが表示されます。

.....

3. [接続&診断]ボタンを押すと、現在の設定を元に PPPoE 接続を開始します。切断するには[切断]ボタンを押してください。

